



平成 17年 3月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17年 1月 25日

上場会社名 花王株式会社

(コード番号: 4452 東証第一部)

(URL http://www.kao.co.jp)

代表者 代表取締役 社長執行役員 尾崎 元規

問合せ先責任者 執行役員 会計財務部門統括 三田 慎一

TEL (03) 3660 - 7111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (詳細は添付資料)
(内容) 退職給付引当金

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 (詳細は添付資料)
(内容) 固定資産の減損に係る会計基準

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)1社(除外)3社 持分法(除外)1社
(詳細は添付資料)

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日 ~ 平成16年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	724,743	4.0	103,586	3.2	106,792	2.5	62,352	3.7
16年3月期第3四半期	697,111	4.1	107,066	2.6	109,524	3.1	60,115	0.9
(参考)16年3月期	902,627		119,705		122,651		65,358	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	113.17	111.13
16年3月期第3四半期	109.46	104.75
(参考)16年3月期	119.06	113.98

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	720,109	451,783	62.7	825.73
16年3月期第3四半期	716,081	419,047	58.5	770.86
(参考)16年3月期	723,891	427,756	59.1	782.14

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	76,888	44,210	75,448	64,455
16年3月期第3四半期	71,792	21,707	49,452	77,096
(参考)16年3月期	117,928	37,348	49,323	107,151

【参考】

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)

平成16年10月21日の平成17年3月期中間決算発表時の予想を変更してありません。(添付資料の2ページ参照)

なお、1株当たり予想当期純利益は、自己株式の取得、転換社債の転換等に伴い、年間期中平均株式数が増減することが予想されるため、補正しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	935,000	125,000	72,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 130円83銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期経営成績及び財政状態の概況(連結) (9ヶ月間の累計)

経営成績

当第 3 四半期(平成 16 年 4 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで)の連結業績は、日本経済が回復基調を保っている一方で、国内家庭用製品における販売価格の低下の影響や、海外売上高のドル安およびアジア通貨安による換算為替差(86 億円)の影響を受けましたが、国内の既存事業の強化と新規事業の早期育成、海外事業の拡大に取り組み、売上高は前年同期より 276 億円増加して 7,247 億円(前年同期比+4.0%)となりました。利益については、工業用製品の拡売、およびコストダウン活動などに注力しましたが、原料価格上昇の影響や、積極的にマーケティング活動を行ったことにより、営業利益は対前年同期で 34 億円減少して 1,035 億円、経常利益は 1,067 億円(対前年同期 27 億円)となりました。一方当第 3 四半期の純利益は、法人税等の税率の低下などにより対前年同期で 22 億円増加し、623 億円となりました。

セグメント別の概況

【家庭用製品事業】

売上高は、前年同期に対して 3.2%増(為替変動の影響を除く実質伸長率+4.4%)の 5,376 億円となりました。前年同期に対して、国内事業は 207 億円の増収となりました。海外事業は、アジアで伸び悩みましたが、欧米では新製品投入効果もあり増加となりました。海外事業全体では、換算為替差の影響により減収となりました。

国内

景気は拡大から調整局面に入り、個人消費は不透明であり、店頭販売金額も前年同期を下回る状況が続きました。こうした中で当社は、引き続き事業部門と販売部門が一体となったチェーンごと、エリアごとのマーケティング活動を積極的に進めた結果、売上高は前年同期を 5.2%上回り、4,232 億円となりました。

パーソナルケア製品では、全身洗剤「ビオレu」に、ハンドウォッシュを追加し、売り上げを大幅に増加させました。またシャンプー・リンスのカテゴリーでも、「アジエンス」が消費者の支持を得て引き続き好調に推移したことにより、市場競争が激化する中、売り上げを伸長させることができました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 5.1%増の 1,389 億円となりました。

ハウスホールド製品では、衣料用洗剤や柔軟仕上剤などのカテゴリーでは、店頭での販売価格下落の影響もあり、売り上げは減少しました。一方、食器用洗剤のカテゴリーでは、「ファミリー キュキュット」が好調に推移しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 3.2%減の 1,884 億円となりました。

サニタリーほか製品では、売上高は前年同期に対して 27.0%増の 959 億円となりました。サニタリー製品では、子供用紙おむつ「メリーズ」が前年同期売上高を大幅に上回り、生理用品では「ロリエ エフ」を 10 月に新発売し、市場シェアを伸ばしました。ヘルスケア製品では、健康機能油の「エコナ」関連製品の売り上げが引き続き順調に伸長しており、「ヘルシア緑茶」も流通チャネルを拡大し、好評を得ております。

海外

アジアでは、特に「ビオレ」と「ロリエ」に集中した事業戦略で成長を図っておりますが、中国で販売体制の再構築を行っていることや、アセアンでの激しい市場競争によって売り上げは低迷し、前年同期に対し 12.3%減の 404 億円となりました。欧米の売上高は、前年同期に対し 3.9%増の 792 億円となりました。特に、花王ブランド社の新製品「ジョン・フリーダ プリリアント プルネット」が順調に推移しました。なお、「エノバオイル」(エコナクッキングオイル)は、2005 年 1 月から販売エリアを全米に拡大する計画で、出荷を開始しました。

【化粧品(ソフィーナ)事業】

国内化粧品市場が横ばいで推移する中で、当社はソフィーナブランドにおいて、スキンケア品では「ベリーベリー」や「UVカットミルク」を、ファンデーションでは「グレイスソフィーナ」を改良し、商品力を強化しました。メイクアップの「オーブ」はパッケージデザインも一新し、好調に推移しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 1.7%増の 614 億円となりました。

【工業用製品事業】

売上高は、前年同期に対して 7.9%増（為替の変動の影響を除く実質伸長率+10.1%）の 1,476 億円となりました。国内事業は前年同期に対して 6.9%の増収となり、海外事業についても、ドル安およびアジア通貨安による換算為替差（29 億円）の影響がありましたが、順調に推移しました。

国内

景気は全般的に、企業収益の改善という形で回復の効果が出てきており、原油価格上昇などの不安定要因はあるものの、コア分野である油脂、機能材料およびスペシャルティケミカルズを中心に、事業は好調に推移しました。また、インクジェットプリンターインク用色材、製紙用嵩高剤やカラートナーなどの新規開発製品も順調に拡大しています。以上の結果、売上高は前年同期に対して 6.9%増の 835 億円となりました。

海外

アジアでは、油脂アルコール製品をグローバルに拡売に努めた結果、売り上げを大幅に伸長させました。また、アセアン諸国の界面活性剤も順調に推移しました。以上の結果、アジアの売上高は前年同期に対し 12.6%増の 356 億円となりました。欧米では、トナー・トナーバインダーが順調に推移しました。またドイツで高性能コンクリート用混和剤の新設備が稼動しました。以上の結果、欧米での売上高は前年同期に対して 10.9%増の 478 億円となりました。

財政状態

総資産は 7,201 億円となり、前連結会計年度末に比べ 37 億円減少しました。負債は、転換社債の株式への転換などにより、前連結会計年度末に比べ 138 億円減少し、2,600 億円となりました。少数株主持分は、花王販売株式会社を完全子会社化したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 139 億円減少しました。株主資本は前連結会計年度末に比べ 240 億円増加し、4,517 億円となりました。これは、当第 3 四半期純利益、転換社債の株式への転換（自己株式を代用。要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の(注)を参照）および花王販売株式会社を株式交換で完全子会社化したことなどにより増加する一方、配当や自己株式の取得など、株主への還元を行ったことによるものです。以上の結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の 59.1%から 62.7%に上昇しました。なお自己株式 25 百万株、637 億円を利益剰余金を原資として消却しております。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、768 億円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益と減価償却費であり、主な減少要因は、法人税等の支払い、売上債権およびたな卸資産の増加です。投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、国内における生産能力増強や合理化投資、タイでの新工場建設などにより、442 億円となりました。財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、前期に引き続き自己株式を取得したことなどにより、754 億円となりました。以上の結果、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 426 億円減少し、644 億円となりました。

通期の連結業績の見通し

当第 3 四半期連結業績は、営業利益で前年同期をやや下回りましたが、今後新製品、改良品の上市による国内家庭用製品市場の活性化や、経費を効率的に使用することなどにより、通期（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日）の連結業績は、平成 17 年 3 月期中間決算発表時の計画と同額を見込んでおります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成16年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)		増 減 (印減)	前第3四半期末 (平成15年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	311,460	43.3	307,254	42.4	4,205	295,144	41.2
現金及び預金	37,724		72,422		34,697	58,471	
受取手形及び売掛金	129,923		97,359		32,563	126,145	
有価証券	35,731		36,839		1,108	18,870	
たな卸資産	81,028		71,891		9,136	68,966	
その他	27,053		28,741		1,688	22,690	
固定資産	408,564	56.7	416,537	57.6	7,972	420,822	58.8
有形固定資産	261,600		259,918		1,681	262,411	
無形固定資産	91,879		98,372		6,492	99,119	
その他の資産	55,084		58,246		3,161	59,291	
繰延資産	83	0.0	98	0.0	14	114	0.0
資産合計	720,109	100.0	723,891	100.0	3,781	716,081	100.0
(負債の部)							
流動負債	226,366	31.4	209,849	29.0	16,517	203,585	28.5
支払手形及び買掛金	79,716		68,400		11,316	68,367	
短期借入金	19,201		17,625		1,576	16,690	
未払費用	73,015		64,551		8,464	66,988	
その他	54,433		59,272		4,839	51,538	
固定負債	33,717	4.7	64,095	8.8	30,378	70,272	9.8
社債及び長期借入金	9,346		31,811		22,465	35,413	
退職給付引当金	13,875		23,157		9,282	25,481	
その他	10,495		9,126		1,369	9,378	
負債合計	260,084	36.1	273,945	37.8	13,860	273,858	38.3
(少数株主持分)							
少数株主持分	8,241	1.2	22,189	3.1	13,947	23,175	3.2
(資本の部)							
資本金	85,424	11.9	85,424	11.8	-	85,424	11.9
資本剰余金	109,561	15.2	108,888	15.0	672	108,888	15.2
利益剰余金	358,410	49.7	399,889	55.2	41,478	398,519	55.7
その他有価証券評価差額金	3,598	0.5	4,318	0.6	719	3,232	0.5
為替換算調整勘定	35,040	4.9	37,941	5.2	2,901	36,195	5.1
自己株式	70,170	9.7	132,822	18.3	62,651	140,821	19.7
資本合計	451,783	62.7	427,756	59.1	24,026	419,047	58.5
負債、少数株主持分及び資本合計	720,109	100.0	723,891	100.0	3,781	716,081	100.0

(注) 増減は当第3四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期		前第3四半期		増 減	前連結会計年度	
	(自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)		(自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)		(印減)	(自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
		%		%			%
売 上 高	724,743	100.0	697,111	100.0	27,631	902,627	100.0
売 上 原 価	306,140	42.2	286,674	41.1	19,466	377,776	41.8
売 上 総 利 益	418,602	57.8	410,437	58.9	8,165	524,850	58.2
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	315,015	43.5	303,371	43.5	11,644	405,145	44.9
営 業 利 益	103,586	14.3	107,066	15.4	3,479	119,705	13.3
営 業 外 収 益	4,409	0.6	3,944	0.5	464	4,886	0.5
受取利息及び受取配当金	593		853		260	1,125	
持分法による投資利益	1,416		579		837	494	
為 替 差 益	277		489		211	319	
そ の 他	2,121		2,021		100	2,946	
営 業 外 費 用	1,204	0.2	1,486	0.2	282	1,940	0.2
支 払 利 息	699		966		266	1,234	
そ の 他	504		520		15	705	
経 常 利 益	106,792	14.7	109,524	15.7	2,732	122,651	13.6
特 別 利 益	1,068	0.2	2,348	0.4	1,280	2,554	0.3
特 別 損 失	2,794	0.4	4,633	0.7	1,838	8,063	0.9
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	105,065	14.5	107,239	15.4	2,174	117,142	13.0
法 人 税 等	42,234	5.8	44,920	6.5	2,686	50,413	5.6
少 数 株 主 利 益 (減 算)	478	0.1	2,203	0.3	1,724	1,369	0.2
四 半 期 (当 期) 純 利 益	62,352	8.6	60,115	8.6	2,237	65,358	7.2

(注) 1. 増減は当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しております。

2. 「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成16年2月13日)に基づき、当第3四半期は、法人事業税の付加価値割及び資本割839百万円を販売費及び一般管理費として処理しております。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期	前第3四半期	前連結会計年度
	(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	105,065	107,239	117,142
減価償却費	41,643	41,398	58,165
受取利息及び受取配当金	593	853	1,125
支払利息	699	966	1,234
売上債権の増減額(増加：)	31,136	32,924	4,404
たな卸資産の増減額(増加：)	8,336	1,854	1,368
仕入債務の増減額(減少：)	10,686	8,698	8,894
退職給付引当金の増減額(減少：)	9,383	5,956	8,301
その他の	8,408	2,471	192
小計	117,053	122,894	170,431
利息及び配当金の受取額	1,072	1,484	2,288
利息の支払額	464	981	1,291
法人税等の支払額	40,772	51,604	53,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,888	71,792	117,928
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	9,019	19	3,025
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入	4,085	11,797	11,809
有形固定資産の取得による支出	36,666	27,886	39,583
有形固定資産の売却による収入	1,065	4,056	4,574
無形固定資産の取得による支出	4,259	7,647	8,903
営業譲受けに伴う支出	-	1,584	1,584
長期貸付による支出	926	668	1,015
その他の	1,508	245	379
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,210	21,707	37,348
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額(減少：)	921	3,580	4,987
自己株式の取得による支出	57,765	37,085	37,197
配当金の支払額	18,073	15,742	17,091
少数株主への配当金の支払額	1,340	1,147	1,146
その他の	809	941	1,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,448	49,452	49,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	1,915	2,484
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	42,695	1,283	28,771
現金及び現金同等物の期首残高	107,151	75,684	75,684
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	0	2,695	2,695
現金及び現金同等物の期末残高	64,455	77,096	107,151

(注) 重要な非資金取引の内容(百万円)

(参考)

転換社債の転換に伴い自己株式を代用したことによる
自己株式の減少額
利益剰余金の減少額
転換による転換社債減少額

43,339
20,738
22,600

8,293
3,963
4,329

四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

・退職給付引当金の計上基準

当社及び主要な連結子会社においては、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第3四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・固定資産の減損に係る会計基準

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を当中間期から早期適用しております。これにより、税金等調整前四半期純利益は102百万円減少しております。なお、減損損失は、連結子会社の遊休の土地等に関するものであり、特別損失に含めております。

連結及び持分法の適用範囲の異動

- ・連結子会社 (新規) 事業再編により重要性が増加した1社
花王プロフェッショナル・サービス㈱
- (除外) 清算中の3社
Kao (S) 2003 Private Limited、John Frieda GmbH、
John Frieda Professional Hair Care, Inc.(Kao Brands Company
に統合)
- ・持分法適用関連会社 (除外) 清算中の1社 Kao Trading (Malaysia) Sdn.Bhd.

販売実績

(単位：百万円)

事業区分	当第3四半期	前第3四半期	増減率	前連結会計年度
	(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)		(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
家庭用製品			%	
パーソナルケア製品	138,906	132,173	5.1	171,574
ハウスホールド製品	188,464	194,790	3.2	241,021
サニタリーほか製品	95,912	75,550	27.0	101,509
日本計	423,283	402,514	5.2	514,105
アジア	40,413	46,069	12.3	59,956
欧米	79,244	76,292	3.9	102,025
内部売上消去等	5,273	4,035	-	5,649
計	537,669	520,840	3.2	670,437
化粧品(ソフィーナ)	61,433	60,404	1.7	77,648
工業用製品				
日本	83,527	78,148	6.9	104,886
アジア	35,643	31,651	12.6	41,846
欧米	47,882	43,189	10.9	56,810
内部売上消去等	19,367	16,149	-	21,922
計	147,686	136,839	7.9	181,620
合計	746,789	718,084	4.0	929,707
消去	22,046	20,973	-	27,079
連結売上高	724,743	697,111	4.0	902,627

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成16年4月1日 至 平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	537,669	61,433	125,640	724,743	-	724,743
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	22,046	22,046	(22,046)	-
計	537,669	61,433	147,686	746,789	(22,046)	724,743
. 営業利益	80,198	7,262	15,830	103,290	295	103,586
営業利益率(%)	14.9	11.8	10.7	13.8	-	14.3

前第3四半期（自平成15年4月1日 至 平成15年12月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	520,840	60,404	115,866	697,111	-	697,111
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	20,973	20,973	(20,973)	-
計	520,840	60,404	136,839	718,084	(20,973)	697,111
. 営業利益	82,733	8,051	16,118	106,904	162	107,066
営業利益率(%)	15.9	13.3	11.8	14.9	-	15.4

前連結会計年度（自平成15年4月1日 至 平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	670,437	77,648	154,541	902,627	-	902,627
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	27,079	27,079	(27,079)	-
計	670,437	77,648	181,620	929,707	(27,079)	902,627
. 営業利益	92,195	7,425	19,940	119,562	142	119,705
営業利益率(%)	13.8	9.6	11.0	12.9	-	13.3